

ミス・バラエティー 一〇〇万個の出荷を二年間ミスゼロで

販促キャンペーングッズの企画・制作を行うミス・バラエティーは、年間一〇〇万個に上るピッキング作業を三年間にわたりノーミスで運営している。バーコードが印字されていない商品が大半であるため、作業は人手に頼るしかない。それでも作業方法の工夫によって高品質な物流サービスを維持している。

マニュアル作業で高品質を実現

静岡県に本社を置くミス・バラエティーは、小口物流のアウトソーシング事業のほか販促キャンペーンの企画・運営を主業としている。前身はポケットティッシュやボールペン、ライターなどに企業名を入れた販促用雑貨の卸会社だった。その時代から同社は「いつも商品の包装、梱包が非常に丁寧」という評価を顧客から得ていた。

先代から事業を引き継いだ現在の栗田佳幸社長が、ある取引先から「あまりの忙しさと販促キャンペーンが思うようにできない」という事情を聞かされたのをヒントに、同社は販促商品の企画から製造、発送、情報管理、果てはキャンペーンの実施に至る、販売促進業務の一切を一括して請け負う新たなビジネスモデルを構築した。

そのソリューションの中核に物流事業が組み込まれている。ポスターやPOP、抽選ツール等の資材を詰め合わせて全国の小売店へ発送するといった手間のかかる出荷作業や流通加工をメインに、大手メーカーや卸はもろろん、有力チェーンストア、通販会社などの荷主から小口物流を獲得している。

新商品のキャンペーンなどでは、販促グッズの入荷だけでなく、メイン商品への貼り付け等の流通加工が発生する。また店舗で展開される商品プロモーションは、メーカーのみならず店舗側の収益をも左右する。納品ミスや着荷遅延は絶対に許されない。そこにミス・バラエティーが得意とする丁寧かつミスのない物流サービスが威力を発揮している。

一〇万分の一、一万分の一クラスの出荷精度を確保するとすれば、大手の物流企業でも最先端のマテハンシステムを駆使するなどの

作業では、三年間にわたり年間一〇〇万個にも上るピッキング作業を「ノーミス」で運営している。

取扱商品のほとんどはライフサイクルが極端に短く、出荷波動も激しいというやっかいな物流特性を持っている。しかもバーコードの印字されていない商品が大半であるため、バーコードシステムが利用できない。

それでも三段階に及ぶ検品作業によってミスを撲滅している。最初に当日出荷分をトータルピッキングして、ミスがなかったかどうかを読み合わせによる検品でチェックする。次に配送デポごとに仕分けした段階でまた検品。最後は店舗ごとに仕分けした後で同じ工程を繰り返す。スタッフの習熟度に頼るのではなく、誰でもあってもミスを見逃さない仕組みを作り上げている。

荷扱いの品質管理も徹底している。同社は一九九九年十二月に物流業界で初めてISO9001による「品質マネジメントシステム」の認証を取得している。大手メーカーと同レベルの商品品質管理体制を証明するものだ。

二〇〇三年十一月にはISO27001「情報セキュリティマネジメントシステム」の認証も取得した。クライアント企業の販売促進支援事業では様々なマーケティング情報を取り扱うことになる。機密性が高く厳格な管理が必要だ。認証の取得によって、情報管理の精度を裏付けた。

ミス・バラエティーが志向する物流事業の

特徴は、大きく次の三点に整理できるだろう。

①コンプライアンス

倉庫業法への適応と貨物利用運送事業への登録。さらには、クリーンルーム完備による化粧品・医薬部外品造業・保管積替え区分の許可申請。

②情報管理

ISO27001の認証取得をはじめ、専任のシステムエンジニアおよびネットワーク管理者を社内配置。

③インフラの構築と万全の運営体制

出荷波動に対応するための十分な作業スペースとフレキシブルな人員体制。組織的な品質管理体制の構築。

こうした高度な管理体制が評価されて、予約販売商品のピッキング・出荷業務など、出荷ミスが大きなトラブルに繋がる恐れのある、難しい物流ほど同社に任せられるという流れが出来上がってきた。

「当社の物流は、従業員皆さんの意識の高さに支えられている」と語る栗田社長。「一人一人が幸せになること」という同社の企業理念が、その言葉通りに物流現場にも反映されているからこそ、一丸となった高品質の物流サービスが実現出来ていると言えるのではないだろうか。

チェーンストア向け予約販売商品の出荷作業……計3回の検品を実施してミスを撲滅



予約商品の出荷リストをもとにピッキング。納品先は全国数千店舗に上る。店舗によって出荷量が大きく異なるところに難しさがある。



①トータルピッキング、②配送センター別の仕分け、③店舗別の仕分けの三段階で、読み合わせによる検品を行っている。

大変な負担を強いられる。それに対してミス・バラエティーは、マンパワーを中心とした「現場力」を高める手法や、フレキシブルな人員運用などの独自のノウハウを駆使することで、ハイレベルな物流品質を実現している。例えば大手チェーンストアの店舗向け出荷

イー・ロジッククラブ活動報告

物流コンサルタントと通販物流のイー・ロジックが主催する研究会「イー・ロジッククラブ」では、先進物流センターの見学会を定期的に行っている。本コーナーではその成果を紹介している。本コーナーではイー・ロジッククラブは、イー・ロジックの角井亮一代表（写真）が主宰する物流研究会で、物流人材の育成や人脈づくりに磨きをかけた企業七五社が参加し、研修会やセミナー、現場見学会、ニュースレターの発行、会員同士の情報交換会など活発な活動を行っている。入会金は五万二千五百円、月会費は五二五〇円で、会員企業に対しては角井代表を始めとしたイー・ロジックのコンサルタントによる無料相談会や同社の主催する研修講座の割引制度などの特典も設けられている。



同クラブへの入会を検討する企業を対象とした無料説明会も東京と大阪で随時開催している。同説明会の参加者には角井代表の①最新セミナーテキスト（定価三〇〇〇円）と②最新セミナー講演CD（定価一万円）がプレゼントされる。

無料説明会の日程（東京と大阪で同時開催）

五月十三日（木）一六・一五
五月二十日（木）一六・一五

（上記日程以外の個別説明にも随時対応）

問い合わせ先電話番号

東京：〇三・五八二五・一七二〇 担当/清水

大阪：〇六・四三〇八・八九七七 担当/宮野

URL: <http://www.e-logit.com/seminar/eologicclub.php>